

令和 8 年度

瑞穂学園

(本成寺中学校・西鱈田小学校・月岡小学校)

【 グランドデザイン 】

瑞穂学園が 9 年間を通して求める児童・生徒像

「自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども」

知 育 = 自ら学び、他と関わり合って追求する子ども

徳 育 = 自他を認め、思いやり、助け合い、高め合う子ども

体 育 = 好ましい生活リズムを自らつくろうとする子ども

令和 8 年度 三条市学校教育プラン

学校教育の目標

子ども自らが未来を拓くための生きる力
(「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」)を育む

目指す子ども像

「ふるさと三条」を愛し、誇りに思う子ども

【知育】 重点事項：「主体的な学びを実現する授業研修」

◆ 知的好奇心の高揚、主体性な学びの向上

・子供たちの「知りたい・学びたい・できるようになりたい」という意識を高め、学びに向かう力を育みます。

◆ 学習の基礎基本の定着、基礎学力の向上

・学習規律、家庭学習習慣の定着および基礎学力を向上させ、集団基準準拠検査(NRT)で前年度比(+)にします。

＜具体的方策＞

◇ 一人一公開授業と学園授業研究協議研修会の実施

・三条市授業スタンダードに基づいた授業改善に取り組みます。

・全職員による授業公開等、学園研修と各校の校内研修を充実させます。

◇ タブレットの活用と確認小テストの実施

・学園共通で「ドリパタイム」と確認小テストを実施し、基礎基本及び家庭学習習慣の定着を図るとともに、個に対応した学びをサポートします。

【徳育】 重点事項：「学級集団を主とした人間関係づくりの力の育成」

◆ 自他を認め合える学級集団

・児童理解、学級集団理解を深め、自分の個性を発揮し、いろいろな人とコミュニケーションを図れる力を育てます。

◆ 思いやり・助け合いの心の育成と社会性の向上

・いろいろな人と交流し、人権意識を高め、人間関係力を育てます。

＜具体的方策＞

◇ 市共通生活アンケート、SLQ の実施と活用

・上記アンケートの実施と分析研修等を通して、よりよい学級集団を作り、子どもたち一人一人の心の居場所を作ります。

◇ 児童生徒の交流活動と職員研修の実施

・「みずほスクール集会」など小中の交流や、小学校同士の交流活動で絆を深めます。また、同和教育現地研修等で、研修したことを人権・同和教育に生かし、心豊かな子の育成に努めます。

【体育】 重点事項：「好ましい生活リズムを自らつくろうとする児童・生徒の育成」

◆ 心身ともに健康な児童・生徒

・睡眠、食事、メディアコントロールを通じた規則正しい生活習慣の確立により、自ら健康を管理する力を育てます。

◆ 運動習慣の確立

・体を動かす楽しさを感じ、継続的に運動に親しむ態度を育みます。

＜具体的方策＞

◇ みずほ生活リズム調査の実施

・年間 2 回の生活リズム調査を実施します。

・調査結果をもとに、生活リズムの改善に向けて家庭と連携して取り組みます。

◇ 健康・運動に関する講演会(瑞穂学園学校保健委員会) の実施

・児童生徒参加型の講演会を学校保健委員会で実施します。

・異学年間で意見交流することにより、望ましい生活習慣づくりの課題を共有し、ともに解決していこうとする心情を養います。

【キャリア教育】 9年間を通じて、縦（3つの期）のつながりと、横（知育・徳育・体育）のつながりを大切に取り組みます。					
期別に育むべき 資質・能力 等		基礎充実期（小1～小4）		活用期（小5～中1）	伸長期（中2・中3）
		社会的自立 職業的自立		協調性・自己肯定感・人の温かさを実感 課題を見付ける力・役割を理解する力・ 目標を持つとうとする能力	他者理解・自分らしさの認識・協働の大切さを体感 計画実行力・自己決定する力・働くことの意義を理解
活動 の 方向 ・ 具体	（知）地域の人材や教育資源 を活用する教育活動		学校探検 ・ 昔あそび ・ まち探検 働く人にインタビュー ・ 地域で受け継がれてきたもの	環境問題を考える ・ 出前環境教室（防災食） 佐渡：伝統文化体験 ・ 出張トーク～三条の魅力・観光～ 職業インタビュー ・	工場見学 ・ 職場体験（発表会） 高校体験入学 ・ 大学、専門学校訪問
	（徳）地域の人々や、児童・生徒間 の絆を深める交流活動		園児との交流会（幼保小連携） ・ 小小交流会（小小連携） 居住地交流会	三条マルシェを盛り上げよう ・ 6送会を成功させよう	職場体験 ・ 親子で進路を考える会
	（体）自己調整力を育成する 教育活動		キャリアパスポート ・ 1/2 成人式（10 歳の会）を成功させよう	キャリアパスポート ・ 男女共同参画講座 卒業プロジェクト ・ 将来の設計と進路計画	キャリアパスポート ・ 学ぶ意義、働く意義 進路相談（三者面談） ・ 受験プランを立てる

	基礎充実期				活用期			伸長期	
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
知 育	●学習規律の定着と基礎的・基本的な事項の習熟				●身に付けた力を活用し、自ら課題を見付け、解決する力の育成			●将来を見据え、身に付けた力をさらに伸ばし、学び続ける態度の育成	
徳 育	●自他の認め合いと規範意識の育成				●自ら考え判断し、行動する力の育成			●自分の良さを更に伸ばし、他や社会と積極的に関わろうとする態度の育成	
体 育	●基本的な生活習慣の定着と運動への意識の向上				●自分の課題を把握し、望ましい生活習慣や運動習慣への改善			●自分の課題を自覚し、より良い生活習慣や運動習慣の確立	

「9年間を通して求める児童・生徒像」にどれだけ近付けたか、子どもたちの姿を小中一貫教育推進たより「土筆の穂」等で紹介します。

小中一貫教育を推進する主な組織		
☆ 瑞穂学園運営協議会（コミュニティ・スクール）【年間3回（6月、10月、2月）】	☆ 瑞穂学園校長連絡会議【月1回年間12回】	★学園職員研修会（教科研修・領域部会）
☆ 瑞穂学園小中一貫教育推進会議（学園運営委員会）【年間3回（4月、10月、2月）】	研究主任部会、生徒指導主事・生活指導主任部会、特別支援コーディネーター（Co）部会、養護教諭部会は月1回【	